

音楽CDをMP3化して取込みファイルとしてCDに書き込む

Windows Media Player Ver12（以下WMPという）を使って、音楽CDから曲をパソコンにMP3形式のファイルに変換して取込む方法と、MP3ファイルとしてCD-Rに焼き付け（コピー）する方法について説明します。この方法はレンタルCDや購入したCDのいずれにも応用できますが、以下の注意点をよく読んでから行なってください。

※注意

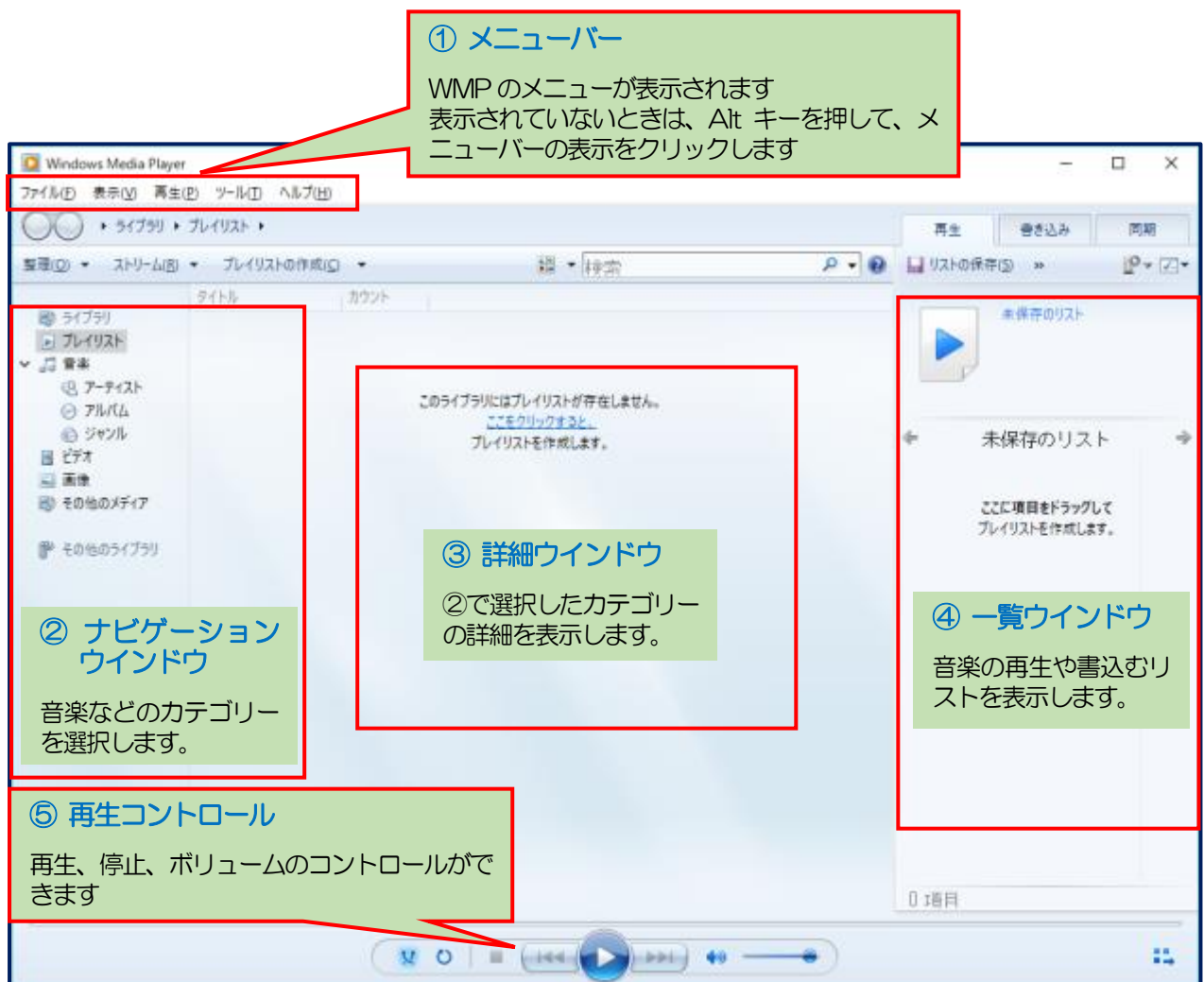
ほとんどの音楽CDには著作権が設定されています。コピーが禁止されているものもあります。また、コピーしたCDを他人に譲渡（無償であっても）することは法律違反になる場合もあります。このことを十分に認識して、取り扱いは十分注意してください。尚、コピーする時は自己の責任で行ってください。

1. WMP を起動する

(1) デスクトップもしくはスタートからWMPアイコンをダブルクリックして起動します。



(2) WMP が起動すると下図の画面が表示されます。

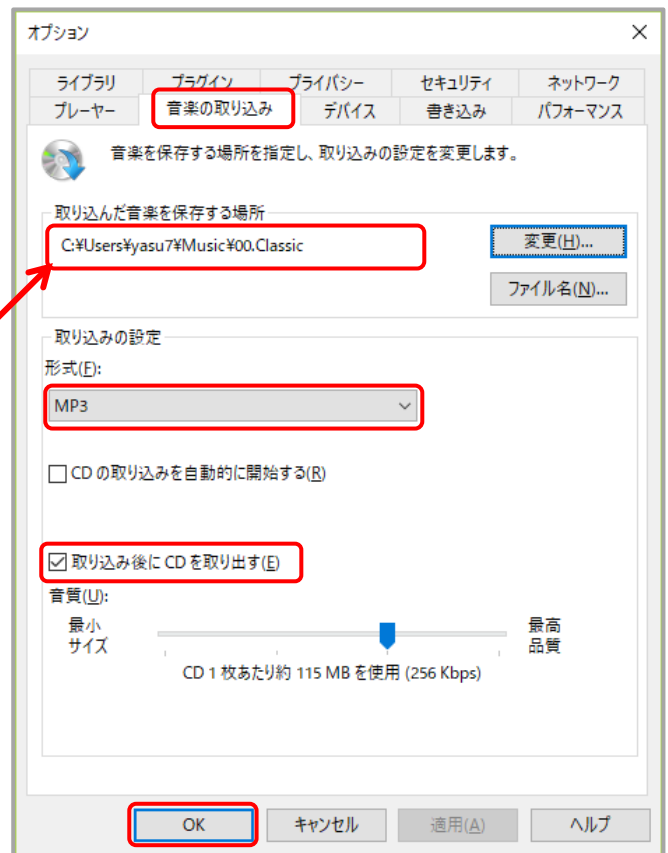


2. WMP で音楽の取り込みと書き込みの設定。

(1) 取り込みの設定

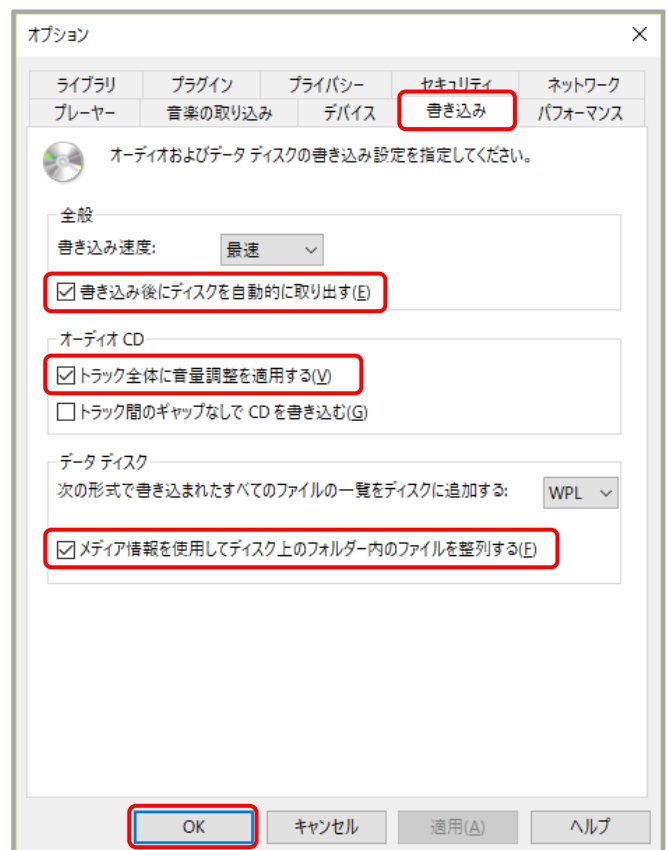
- ① メニューバー → ツール → オプションを開く。
- ② オプション画面が開いたら、音楽の取り込みタブをクリックする。
- ③ 取り込みの形式を「MP3」を設定する。
- ④ 取り込み後にCDを取り出さずチェックを入れる。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックする。

※取り込んだ音楽を保存する場所は標準では **C:\Users\ユーザー名\Music** フォルダに保存されるのでよく覚えておいてください。(任意の場所に変更することも出来ます。)



(2) 書き込みの設定

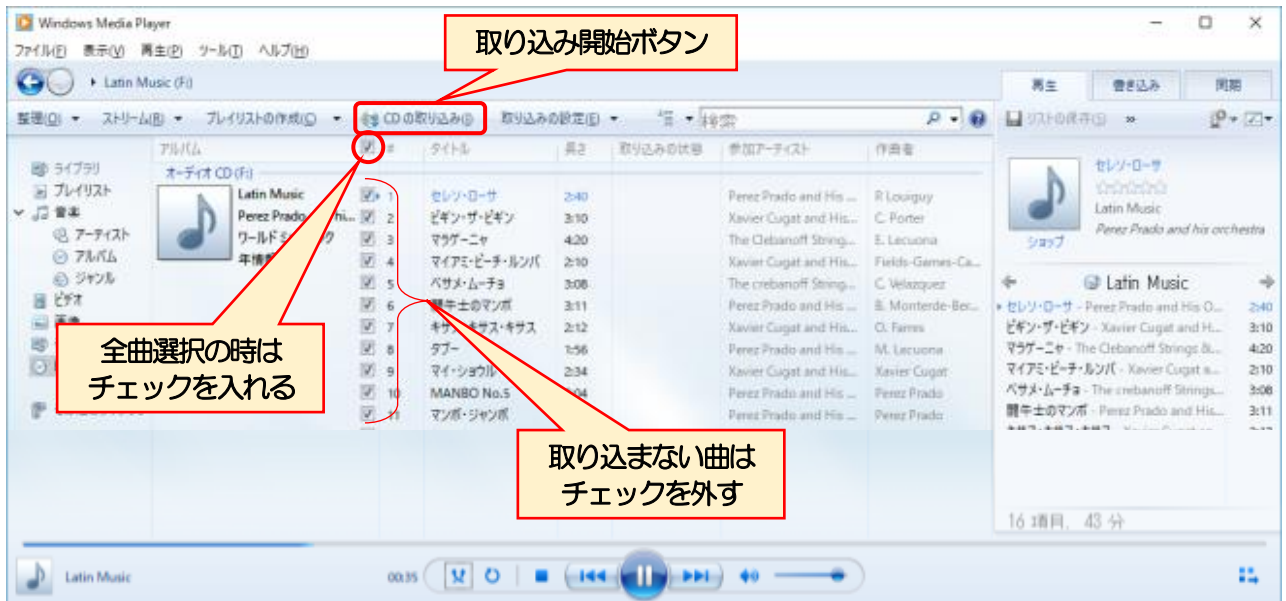
- ① メニューバー → ツール → オプションを開く。
- ② オプション画面が開いたら、書き込みタブをクリックする。
- ③ 次の3項目にチェックを入れる。
 - a. 「書き込み後にディスクを自動的に取り出す。」
 - b. 「トラック全体に音量調整を適用する。」
 - c. 「メディア情報を使用してディスク上のフォルダ内のファイルを整理する。」
- ④ 「OK」ボタンをクリックする。



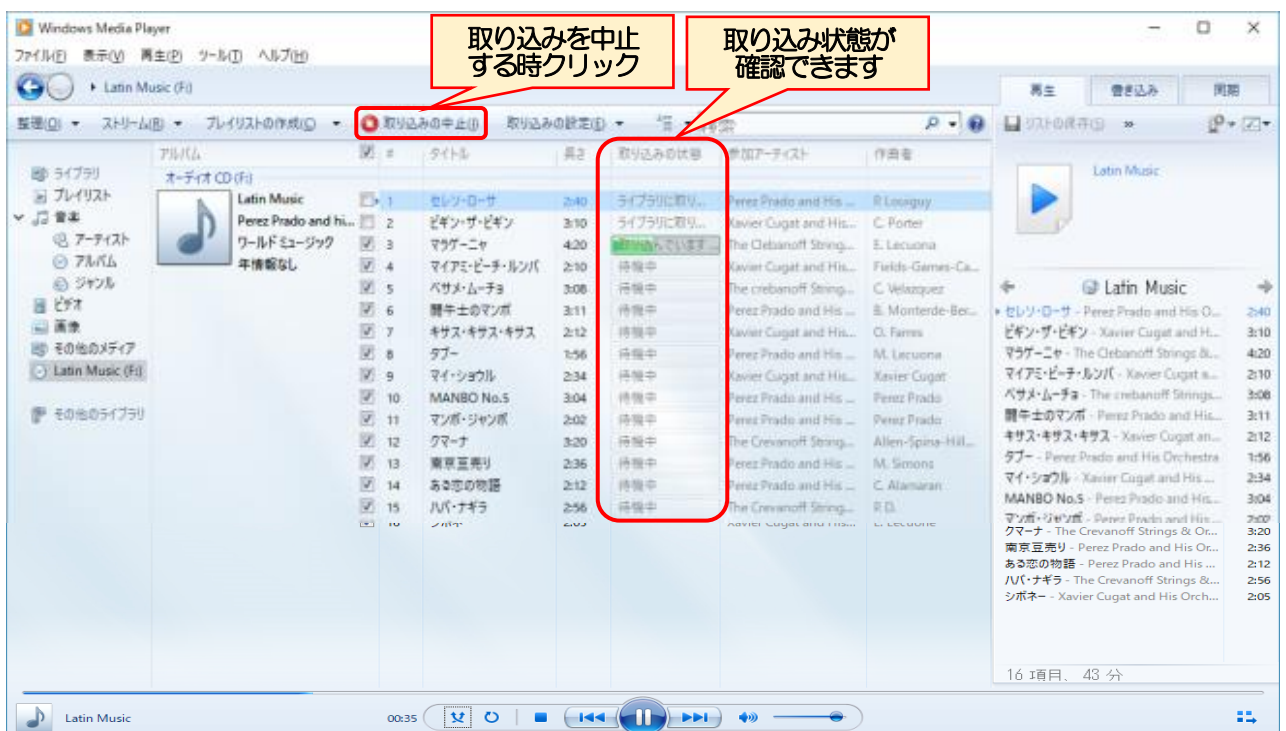
3. 音楽の取り込み

(1) CDから音楽の取り込み実行

- ① 準備が出来たらCDをパソコンのCD又はDVDドライブに挿入する。
- ② ドライブのアクセスランプが消えてCDが読み込まれると下図の画面が開いてCDの中に入っている、曲名が表示されます。
- ③ タイトル左横の全選択にチェックを入れるとすべての曲を取り込みします。(最初にCDを読み込んだ時はチェックが入っています。) ・取り込みする必要がない時は曲名の頭のチェックを外します。
- ④ 「CDの取り込み」ボタンをクリックする。



- ⑤ 取り込みが開始されると「CDの取り込み」ボタンの名前が「取り込み中止」に変わる。
- ⑥ 取り込みの状態欄が「待機中」→「取り込んでいます」→「ライブラリに取り込み済み」と変化する。
- ⑦ すべての取り込みが完了すると、CDが自動的に排出されます
- ⑧ 続けて次のCDから音楽を取り込むには、「(1) CDから音楽の取り込み実行」からを繰り返します。



<参考>

パソコンをインターネットに接続した状態で取り込みを実行すると、CDジャケット、アルバム名、アーティスト名、曲名等の情報が自動的に認識されます。（すべてのCDに該当するものではありません）

(2) 取り込んだ音楽の確認

- ① 取り込んだ音楽は、保存場所を他に変更しない限り通常は「ユーザー」の「Music」フォルダーに保存されます。
- ② Music フォルダを開くと取り込んだ音楽が保存されているのが確認できます。

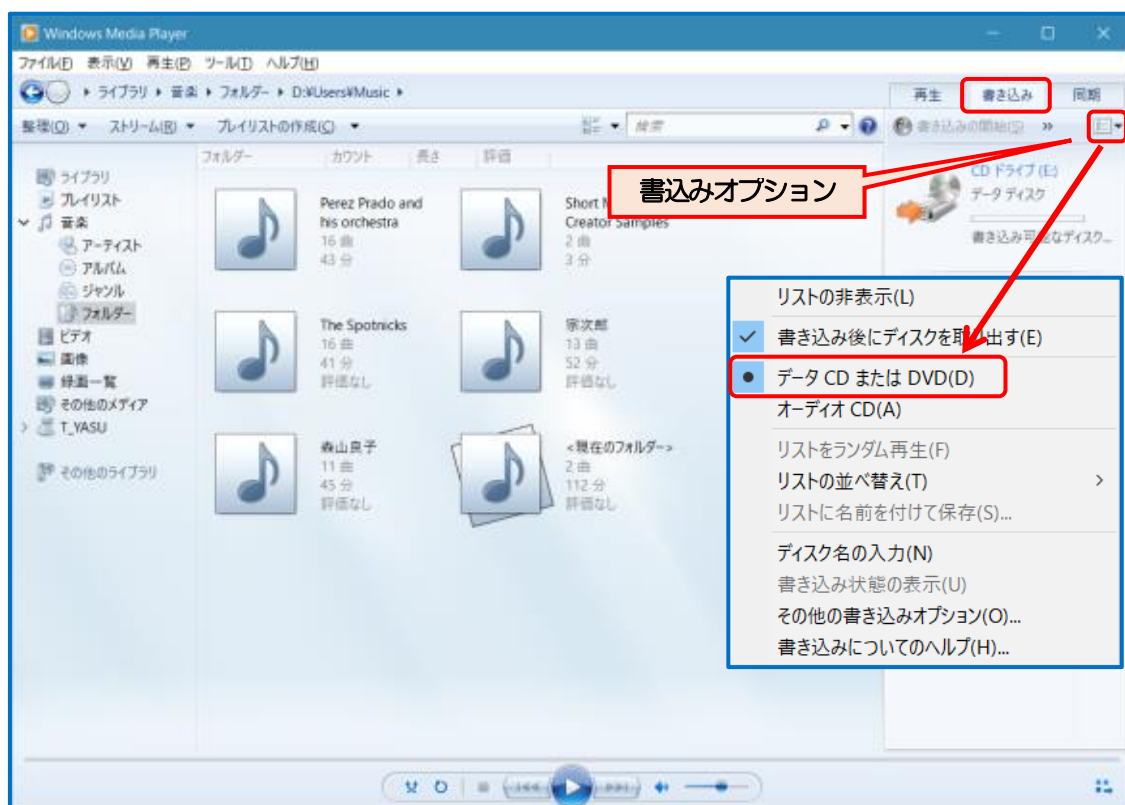
4. 取り込んだ音楽をCDに書き込み（コピー）する。

音楽をオーディオファイルとしてCDに書き込む方法は以前からの講座で、幾度となく行ってきましたがこの方法ですと、CD1枚に最大でも80分しか書き込みできません。これは曲数にすると15～20曲しか入りませんが、これを音楽データファイル（MP3）としてCDに書き込めば、1曲約が4～6MBのファイル容量ですからCD1枚に約700MBまで書込むことができますので、100曲あまりの数の曲を入れることができます。

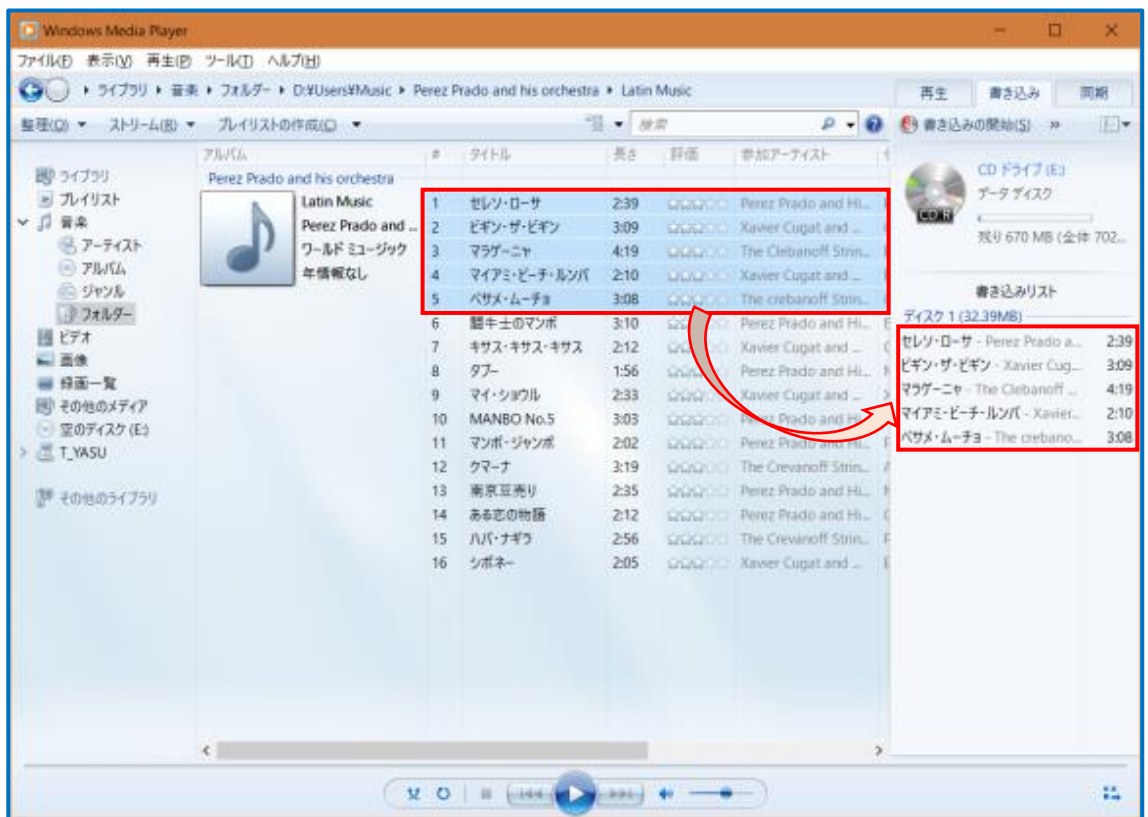
WMPを使ってCDに音楽ファイルを書き込むとバラバラでランダムに入れてあってもアルバム別、アーティスト別等に自動的に振り分けられてフォルダが作られその中に納まりますので、書込む前に手動で並べ替えなどする必要は全くありません。今回は音楽ファイル（MP3）をデータとしてCDに書き込む（コピー）方法について説明していきます。

(1) 書き込む音楽ファイルを選択します

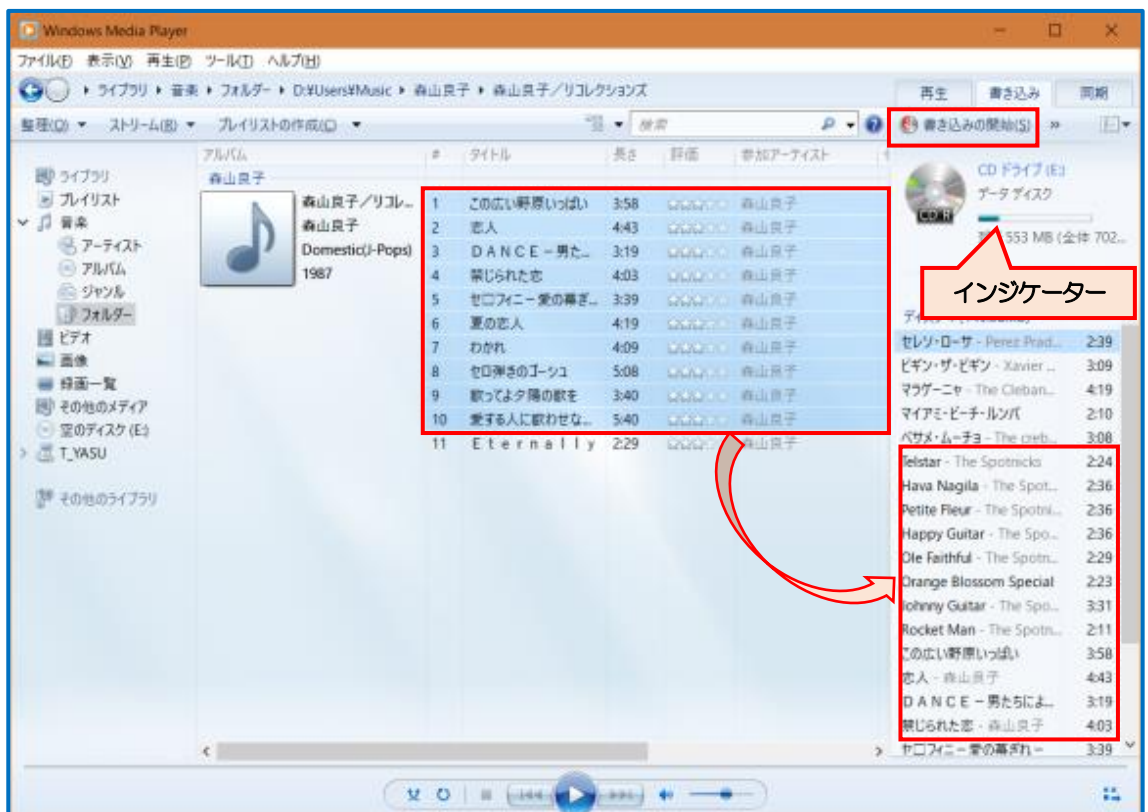
- ① 書き込みするには最初に、WMPの右上にある「書き込み」タブをクリックする。
- ② 書き込みオプションをクリックして、データCDまたはDVDをクリックしたのちに新しいCD-Rをトレイに挿入します。



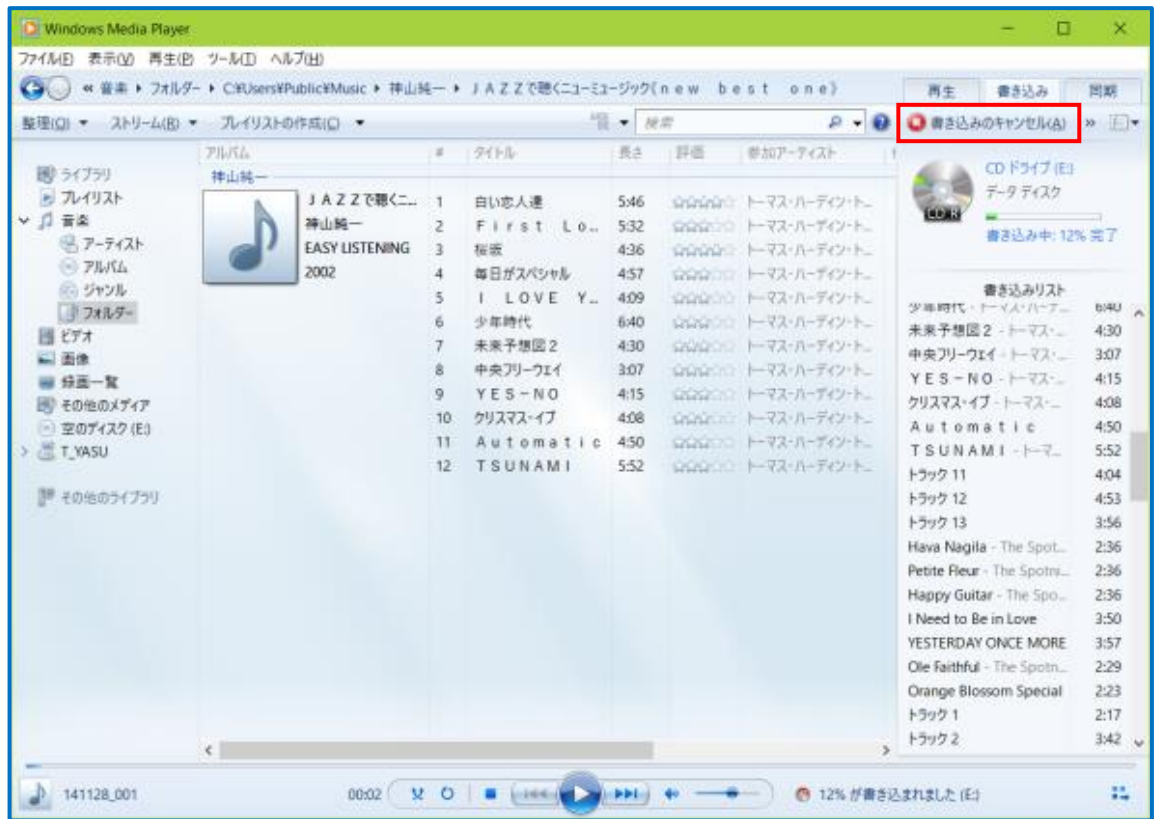
- ③ MUSIC または取り込んだフォルダーを開いて、書込む音楽を選択して模擬の書き込みリスト欄にドラッグドロップします。



- ④ 同様にして次の曲を表示させて、書込む音楽を書き込みリスト欄にドラッグドロップして、書き込み可能な容量になるまで追加していきます。
- ⑤ 同様にして次の曲を表示させて、書込む音楽を書き込みリスト欄にドラッグドロップして、インジケータ（最大702MB）がいっぱいまで入ったら「書き込みの開始」をクリックする。



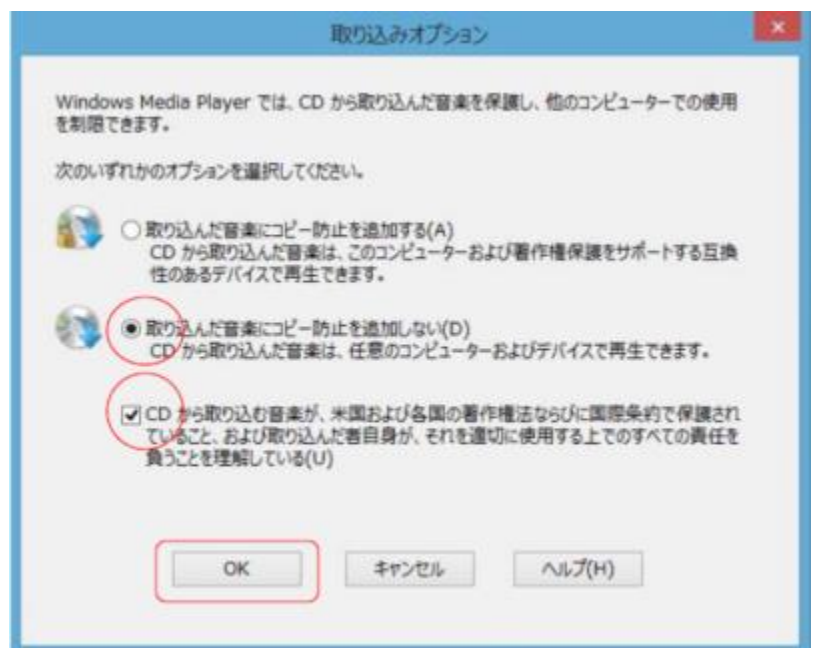
- ⑥ 書き込みが開始されると「書き込みの開始」ボタンの表示が「書き込みのキャンセル」に変わりますのでそのまま終わるまで待ちます。
- ⑦ 書き込み処理がすべて終了するとCDがトレイから自動的に排出されます。
- ⑧ 途中で書き込みを止めるときは「書き込みのキャンセル」をクリックすると書き込みを中止することができますが、処理中のCDは再使用できなくなりますので注意してください。



<参考>

音楽の取り込み、またはCDに書き込みをするときに下図の「取込オプション」が表示された時には「取り込んだ音楽にコピーしない」をクリックして「CDから取り込む音楽が米国及び各国の著作権・・・」の項目にチェックを入れて「OK」をクリックする。

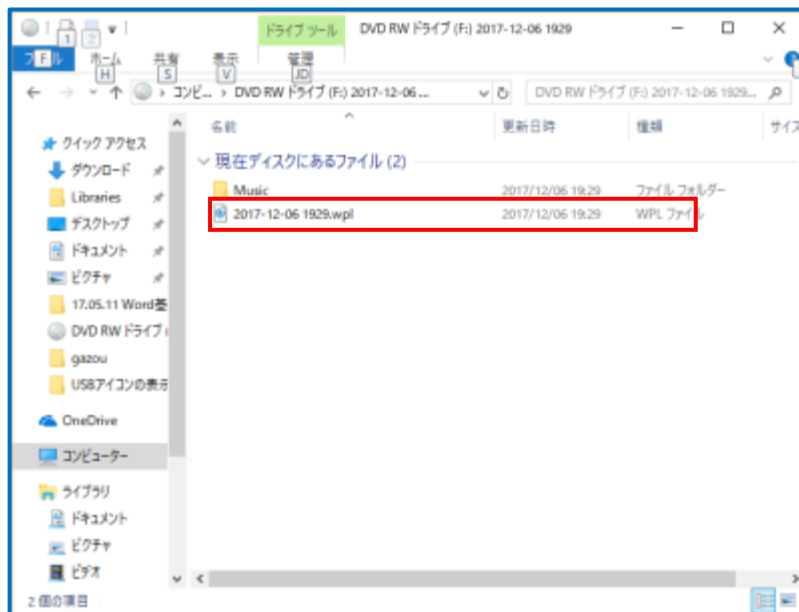
※ 取り込んだ音楽にコピー防止を追加するを選ぶとCDへのコピー回数か極度に制限されます。



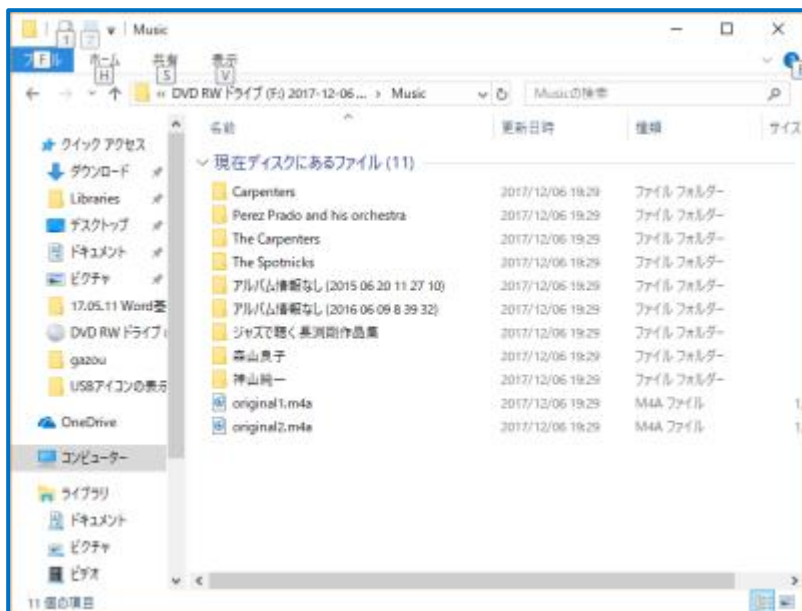
5. 音楽ファイルを書き込んだCDの確認

(1) CDをトレイにセットして、開いてみましょう。CDを開くと中に Music フォルダーと***.wpl というファイルがあるのが確認できます。

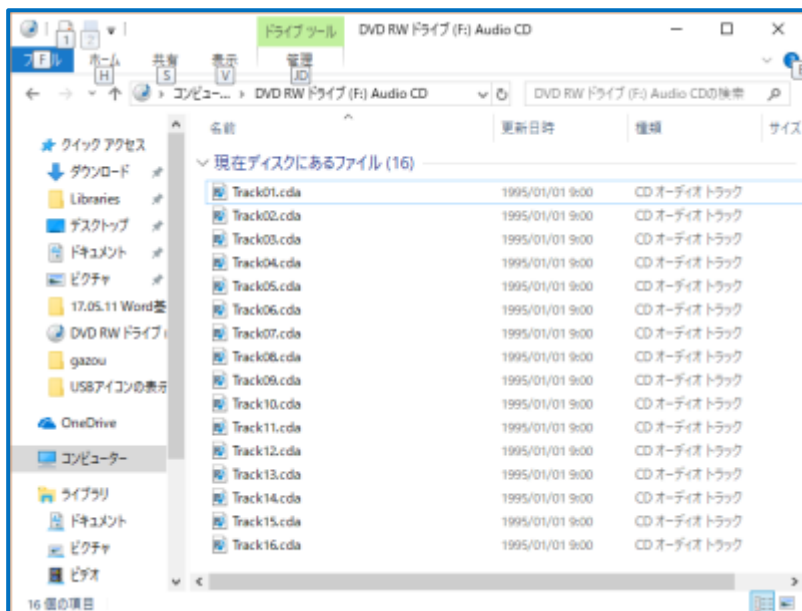
※ ***.WPLとは「Windows Media Player Playlist」の略で Windows Media Player で使用されている標準のプレイリストファイル形式です。ファイルの拡張子は、.WPLです。



(2) この、Music フォルダーを開くとアルバムやアーティスト別のフォルダーが出来あがっているのが見えますので、フォルダーを開くと音楽ファイルが保存されています。



(3) 右図は音楽CDやオーディオ形式で書き込んだCDを開いた状態です。両者の違いがはっきりと見て取れるでしょう。



6. 音楽ファイルを書き込んだCDを再生して確認しておきましょう。

- (1) 通常作成したCDはパソコンでの再生は勿論ですがCDプレーヤーやカーステレオなどMP3ファイルに対応した再生装置ですと容易に聞くことができますが、一部のCDプレーヤーでは再生できないことがありますので、プレーヤー本体のMP3対応の表示があることを確認してください。



- (2) 通常は一度WMPで書き込みして作成したCDには、WMPを使って追記して書込むことが出来ませんので注意が必要です。Windowsのエクスプローラーを使って書き込みすれば追記することはできますが、どうしても後から追記する必要がある場合には、最初からCDBurnerXPというフリーソフトを使うかWindowsのエクスプローラーを使って書き込みする方法をお勧めします。

<参考>

CDBurnerXP の使用方法についてはプラザ講座、2013/10/13 付けで写真の保存：CDBurnerXP というフリーソフトを使ってCDやDVDに写真を保存する。の手順書を参考にしてください。又CDBurnerXPを使えば書き込み保護されていない、CDやDVDを丸ごとコピーすることも出来る便利なソフトです。